

# 教材ドットコムオリジナル教材 JTrimで楽しく写真加工



## 目次

- 1.JTrimとは …2
- 2ダウンロードしよう …2
- 3インストールする …3
- 4.JTrimの基本画面を理解する …4
- 【コラム】画像の拡大と拡大表示とは違う!? …4
- 【コラム】画像素材がほしい! …4
- 5.フォトギャラリーWebページ用に画像を加工してみよう(1) …5
- 6.フォトギャラリーWebページ用に画像を加工してみよう(2) …6
- 7.フォトギャラリーWebページ用に画像を加工してみよう(3) …7
- 【ワンポイント】ギャラリーページ作成 …8
- 8.年賀状(暑中見舞い)用に画像を加工してみよう(1) …9
- 9.年賀状(暑中見舞い)用に画像を加工してみよう(2) …10
- 【ワンポイント】年賀状作成 …11
- 【ワンポイント】特殊効果 …11
- 【巻末資料】特殊効果一覧 …12

## 利用について

教材ドットコム (<http://www.kyouzai.com>) が本教材の著作権を保有しています。JTrimはSPDD (<http://www.sppd.co.jp/>) が著作権を持っています。

本教材は個人的な学習に限って無料使用が可能です。

企業研修での利用や企業活動に関与するすべての学習は個人であっても無料使用は認めていません。別途規定料金をお支払い下さい。また、再配布、転載、雑誌への掲載・収録などは別途ご相談下さい。

本教材のサポートは無料使用の場合には行いません。また、本教材によって生じたいかなる損害も著作者は補償いたしません。自己責任の上ご利用下さい。

それでは、楽しいレッスンをお楽しみ下さい。

吉田喜彦 yoshida@kyouzai.com

Copyright(C)2002, Yoshihiko Yoshida All Right Reserved.

## 1 JTrimとは

JTrimとは無料で配布されている画像処理ソフトです。

画像処理とは、デジカメで撮った写真やスキャナで取り込んだ画像など静止画像にいろいろな加工をするためのソフトです。写真を扱うときには必ず必要になるソフトです。

中でもJTrimは無料で配布され(2002年1月現在)、多くの利用者を獲得しており、とても定評のあるソフトです。スキャナへの対応、様々な特殊効果、色合いの補正など多彩な機能を持ちます。

なお、画像処理ソフトとは画像を「点の集合体とみなして加工するソフト」です。コンピュータで扱える画像は点で構成されているものと、線で構成されているものがあります。JTrimは前者に当たります。

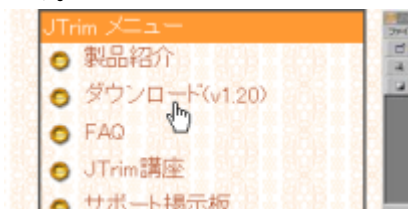
「点で構成される画像」は加工するごとに画像が乱れていく特徴があります。したがって、あまり加工しすぎないように注意しましょう。加工したのかしてないのか、気づかない程度に行うことがコツです。

## 2.ダウンロードしよう

次のサイトへアクセスします。

<http://www.sppd.co.jp/product/jtrim/>

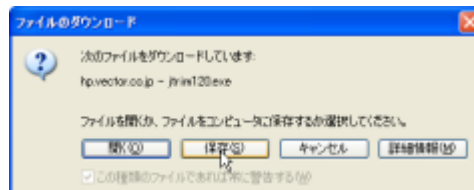
「ダウンロード(v1.20)」をクリックします。



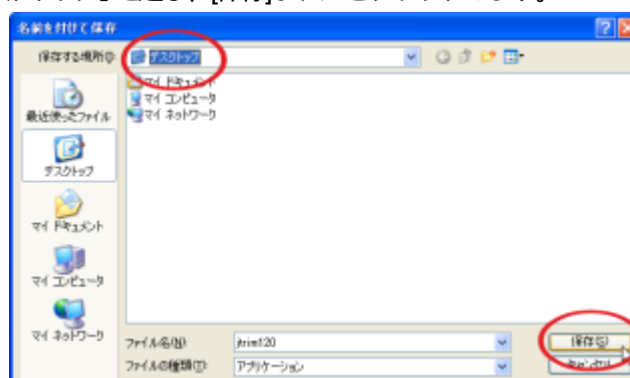
「JTrim v1.20 のダウンロード (813KB) [インストーラ付き]」をクリックします。



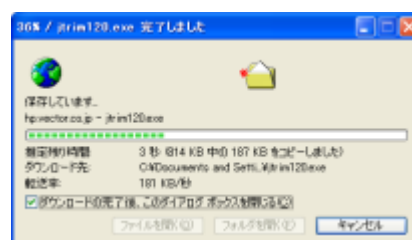
「保存」をクリックします。



保存する場所に「デスクトップ」を選び、[保存]ボタンをクリックします。



(ダウンロードが始まります)

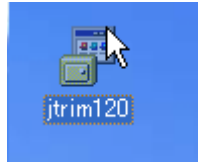


インターネットの画面を閉じます。

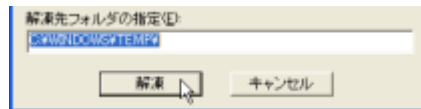


### 3 .インストールする

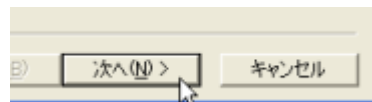
デスクトップを表示させ、 『jtrim120』 をダブルクリックします。



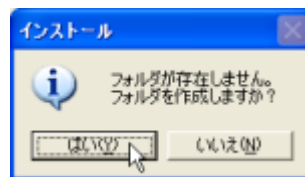
[解凍]ボタンをクリックします。



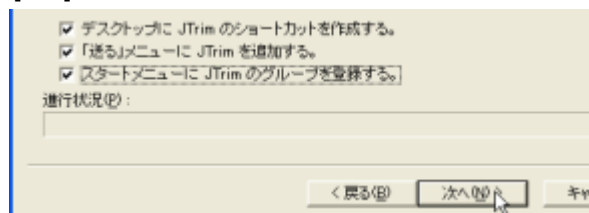
[次へ]ボタンをクリックします。



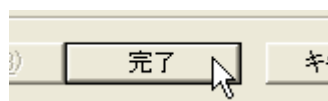
[はい]ボタンをクリックします。



次の通りにチェックをし、 [次へ]ボタンをクリックします。



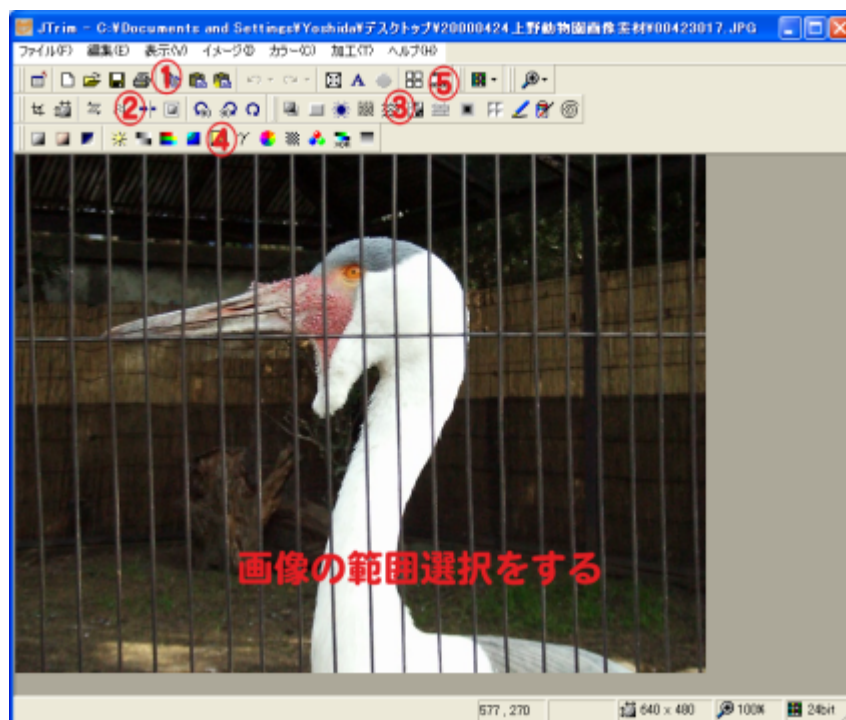
[完了]ボタンをクリックします。



(デスクトップにJTrimを起動できるキャラクターが登場した。このキャラクターをダブルクリックするとJTrimが起動し、JTrimを利用できるようになります。)



## 4 JTrimの基本画面を理解する



### ファイル操作

ファイルを開いたり保存したりします。また、コピーや貼り付けなどコンピュータ操作の基本的な作業もここでできます。

### サイズ調整や変形

画像のサイズを変えたり、位置をずらしたりなど変形に関する作業ができます。

### 特殊効果

画像に特殊効果を与えることができます。モザイク処理をしたり、や画像のまわりに立体枠をつけられたりします。

### 色調補正

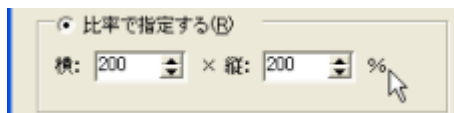
画像の色合いを補正できます。室内で撮影したデジカメ画像などの青みを除去することなどもできます。

### その他

文字を画像に追加したり、画像編集をするときに画像を拡大表示させたり、いろいろなことができます。

### 【コラム】画像の拡大と拡大表示とは違う!?

画像の拡大は、画像のデータ自体を拡大し大きくします。しかし、拡大表示というのは作業をする際に拡大をするのであって、データ自体を引き延ばすわけではありません。



リサイズの場合(この場合はデータが大きくなる)

### 【コラム】画像素材がほしい!

画像素材がないときはインターネットで探してみよう。次のサイトでも配布している。利用規程を読みダウンロードしてみよう。

【教材ドットコム】 <http://www.kyouzai.com/>

トップページから[・専門学校/大学授業用] [フォトショップ画像素材 ~ 動物園 ~ (4.2MB)]

## 5. フォトギャラリーWebページ用に画像を加工してみよう(1)

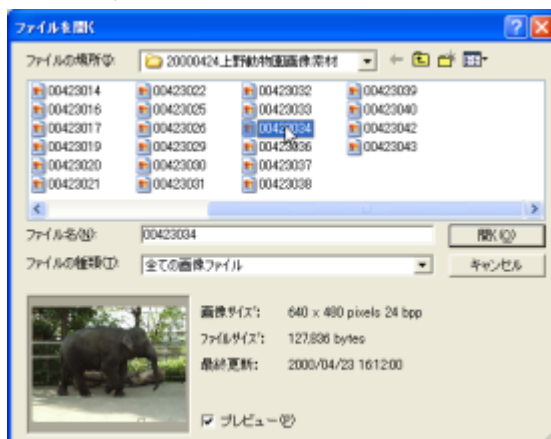
ホームページで画像を利用する場合には(1)ページの背景(2)タイトルや[トップへ戻る]などのロゴ(3)写真(アートギャラリー等)として公開、というような状況で使用することになります。そこで、まず本節では写真として公開することを想定して画像処理の基本を学びます(本節では前項の「フォトショップ画像素材～動物園～(4.2MB)」をダウンロードし、デスクトップに解凍したものとして解説を進めます)。

まずは、明るさを調整してみます。

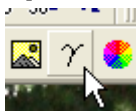
デスクトップ上のJTrimをダブルクリックします(JTrimが起動します)。

[ファイル] [開く]を選びます。

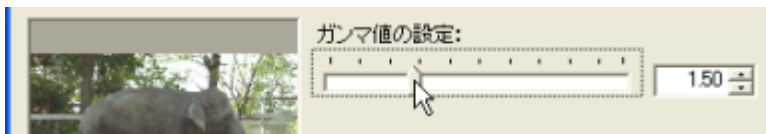
「00423034」をダブルクリックします。



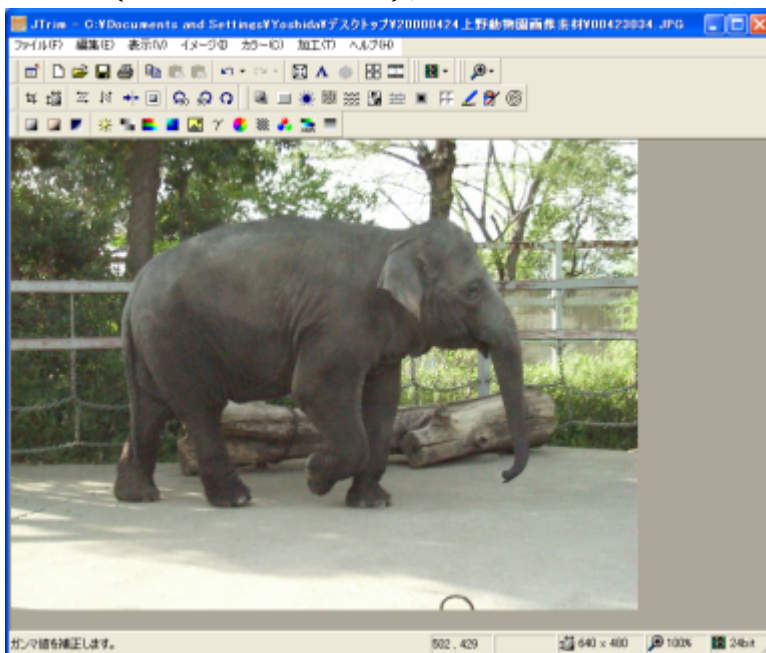
少し暗いのでガンマ補正をします。[ガンマ補正]をクリックします。



[1.5]程度にドラッグします。



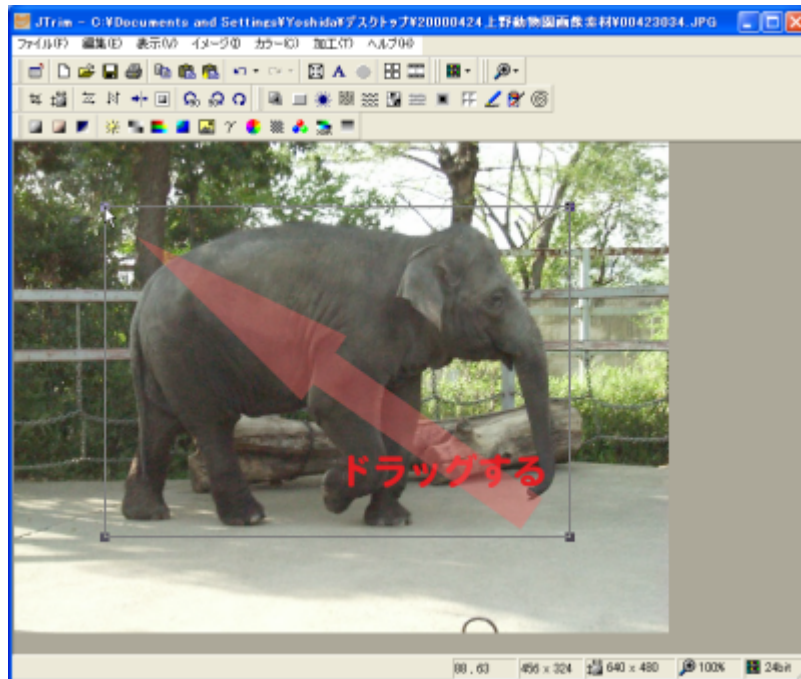
[OK]ボタンをクリックします(画像が明るくなりました)。



## 6. フォトギャラリーWebページ用に画像を加工してみよう(2)

画像をうまく切り抜いて、より対象物をはっきりさせましょう。

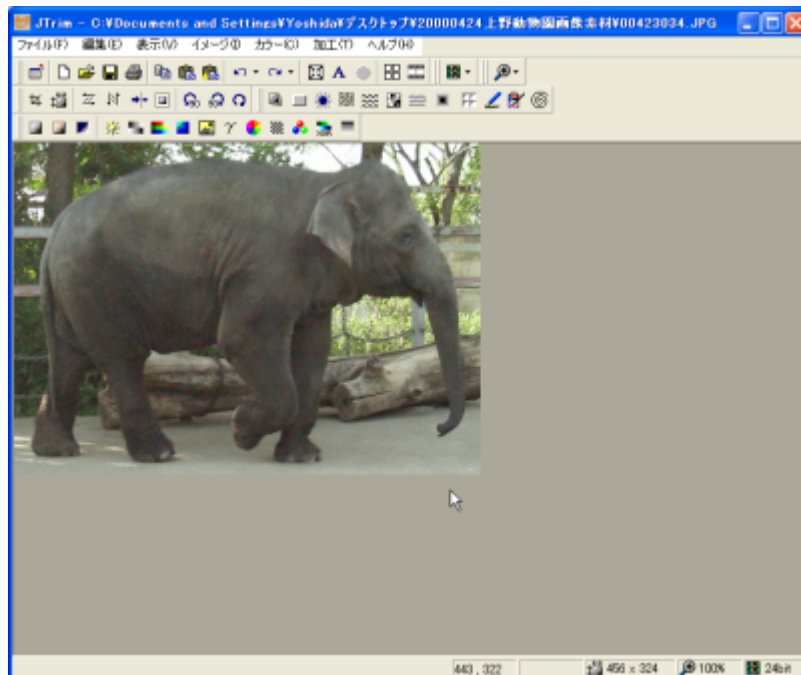
像の右下から左上に向かってドラッグをします。



[切り抜き]をクリックします。



(像の部分が切り抜かれました。このような処理をトリミングといいます。雑誌や新聞など写真を掲載する場合にはたいてい必要などところをうまく切り出して、掲載するものなのです。こうすることによりいっそう対象が明確になります。)



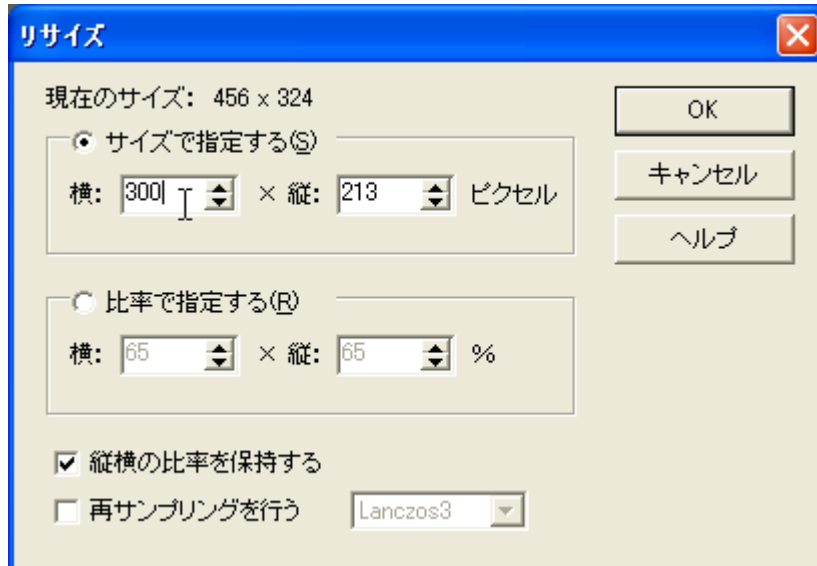
## 7. フォトギャラリーWebページ用に画像を加工してみよう(3)

サイズ調整を整えることはとても重要なテクニックです。ただし、サイズが縮小されるときのみに限ります(拡大すると画像が荒くなってしまう)ので注意します。

[リサイズ]をクリックします。



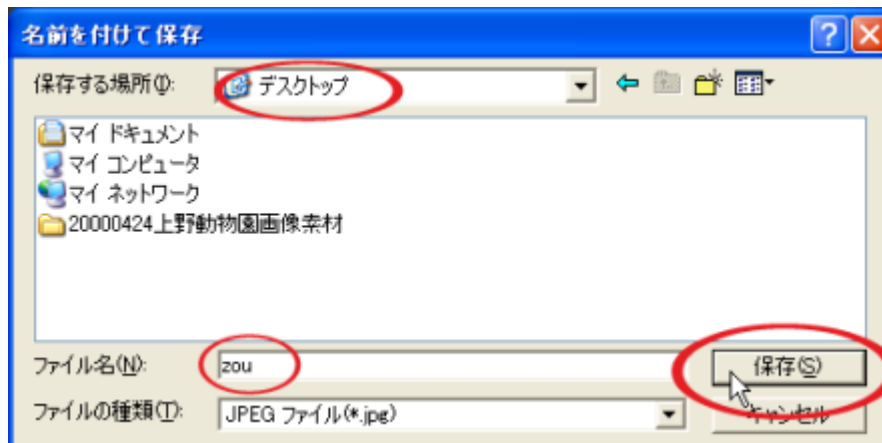
横を300にします(入力します)。



[OK]ボタンをクリックします(画像が縮小されました)。

[ファイル] [名前をつけて保存]を選びます。

保存する場所を「デスクトップ」、ファイルの種類を「JPEGファイル」、ファイル名を「zou」にします。



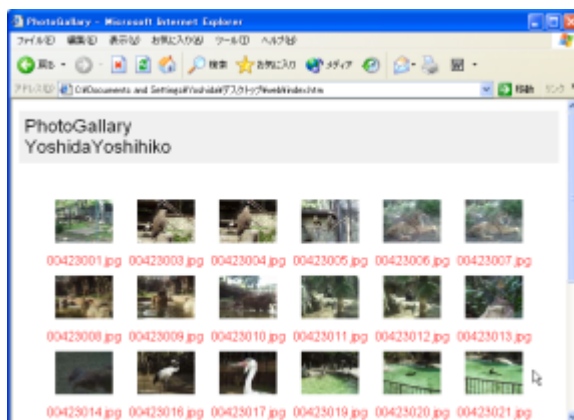
[保存]ボタンをクリックします。

(デスクトップにファイルが保存されました。)



## 【ワンポイント】ギャラリーページ作成

HPにフォトギャラリーのページをつくるときには次のことに気をつけなくてはなりません。



画像のサイズを統一する。

これはギャラリー全体の統一感を出すのにとても大切になります。一般的なディスプレイの横幅である1078を参考にして、予め決めておくといいでしょう。

画像の補正とトリミングをする。

画像の補正とは画質を整える作業をいいます。ガンマ補正はもっとも代表的な画質補正で補正作業の必ず最初に行います。最適な明るさのときには行う必要はありません。

ガンマ補正以外には[コントラスト]と[RGBの度合い]を覚えておくといいでしょう。



コントラスト

画像の明るい部分と暗い部分の差を広げます。曇りの日に撮影した画像などは影の部分が少なくなる分のっぺりとした印象になりがちなので、そういうときに試してみたい補正です。



(コントラストをあげたところ、画像がはっきりとしました。メリハリがついた画像といえます)



RGBの度合い

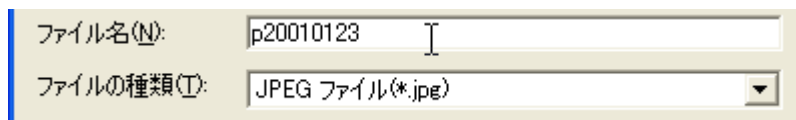
色の3原色であるR(赤・Red)G(緑・Green)B(ブルー・Blue)のそれぞれについて強さを変えられます。室内で撮影したときの青みがかった画像もこれで修正ができます。



(トラがより黄色みが増し、草の緑がより緑らしくなった。)

適切なファイル名とファイル形式で保存する。

ファイル名は必ず半角英語でつけます(直接入力モードで入力した状態です)。また、ファイル形式も必ずJPEGにします。インターネットでは英語・JPEGが基本なのです。





## 8 年賀状 (暑中見舞い)用に画像を加工してみよう(1)

日本の官製はがきでは、画像を600×400くらいのサイズで文書に貼り付けると、だいたい上半分くらいをしめるようなレイアウトになります。そこで、本節では年賀状を想定して画像を加工してみましょう。

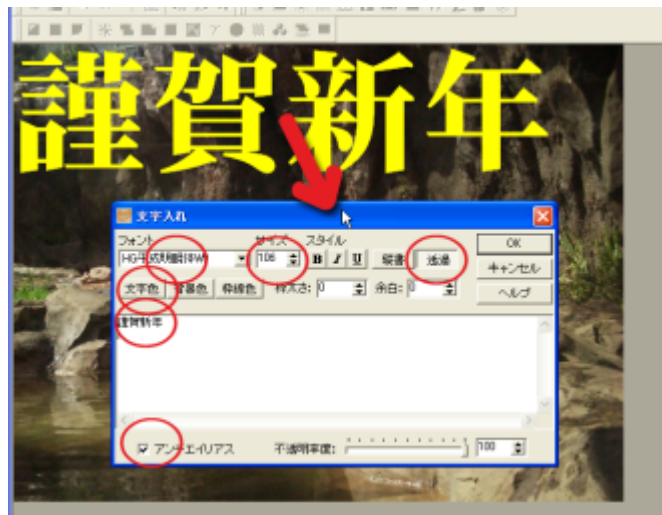
[ファイル] [開く]を選びます。

「0423008」をダブルクリックします ([0423008]が開きます。保存するかどうかのメッセージが出ましたら、[はい]ボタンをクリックします)。

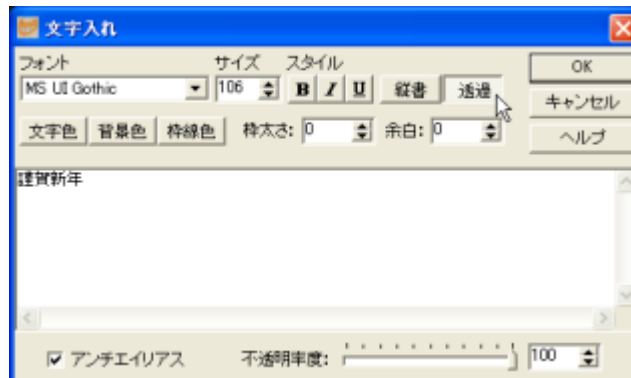
[文字入れ]ボタンをクリックします。



[文字入れ]画面上部の青い部分をドラッグし、背後の文字が見えるようにします。



フォントを[MSUIGothic]、サイズを[106]に設定し、[透過]ボタンをクリックし、アンチエイリアスをクリックしてチェックしておきます。文字入力欄のももとの文字を消し、「謹賀新年」と入力します。

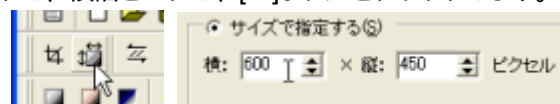


文字入れ画面の背後にある文字をドラッグし、適切な位置へ移動させます。



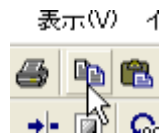
[OK]ボタンをクリックします。

[リサイズ]ボタンをクリックし、横幅を600にし、[OK]ボタンをクリックします。



## 9 年賀状 (暑中見舞い)用に画像を加工してみよう(2)

[コピー]ボタンをクリックします。

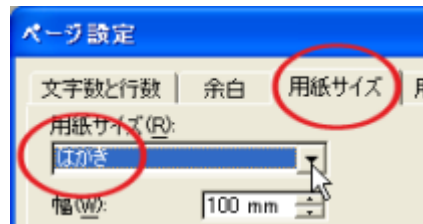


ワープロソフトを起動します。

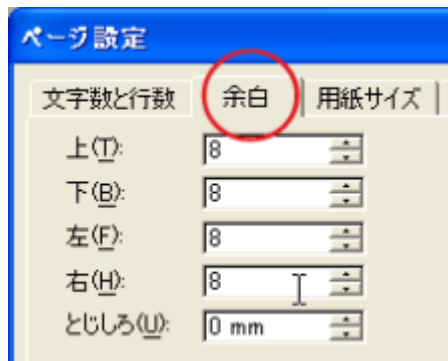
(画面例ではWord2000が起動しています。)

[ファイル] [ページ設定]を選びます。

[用紙サイズ]タブをクリックし、用紙サイズを[はがき]にします。



[余白]タブをクリックし、上下左右の余白をすべて8にします。



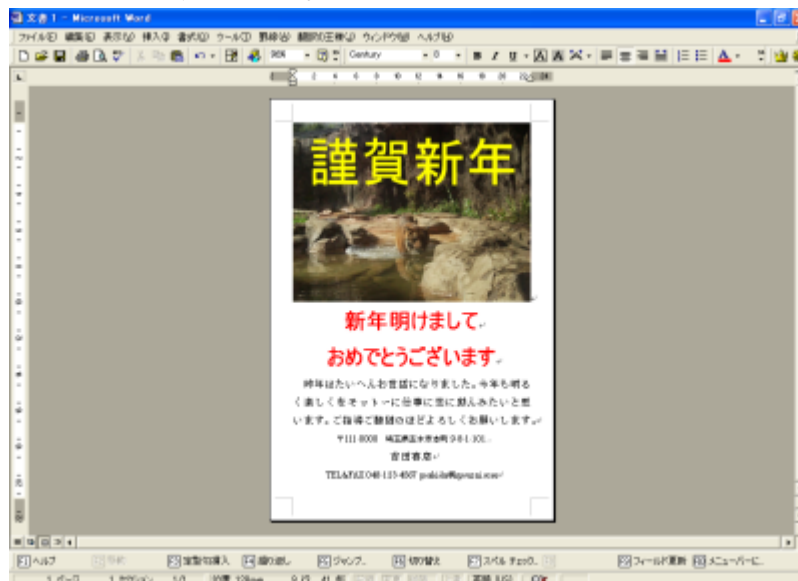
[OK]ボタンをクリックします。

[無視]ボタンをクリックします。

[貼り付け]ボタンをクリックします。



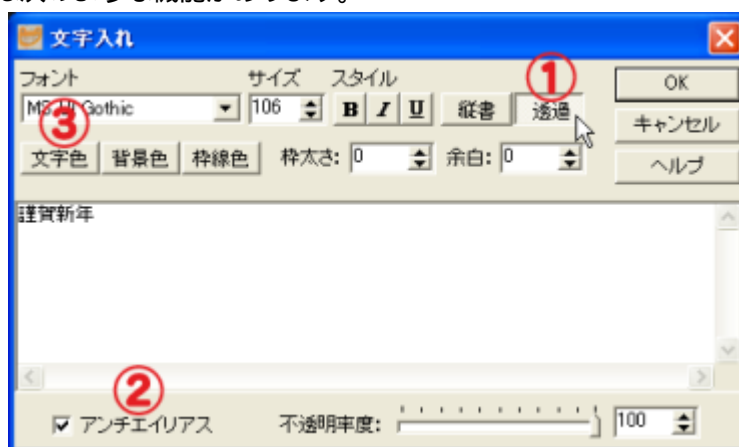
下余白に必要事項を入力し、印刷する。



## 【ワンポイント】年賀状作成

年賀状を作成する場合、ワープロソフトに貼り付け住所などの文字を入れるスペースを考えなければなりません。したがって、画像に予め文字を入れておくの良いのです。

文字入れ画面には次のような機能があります。



### 透過

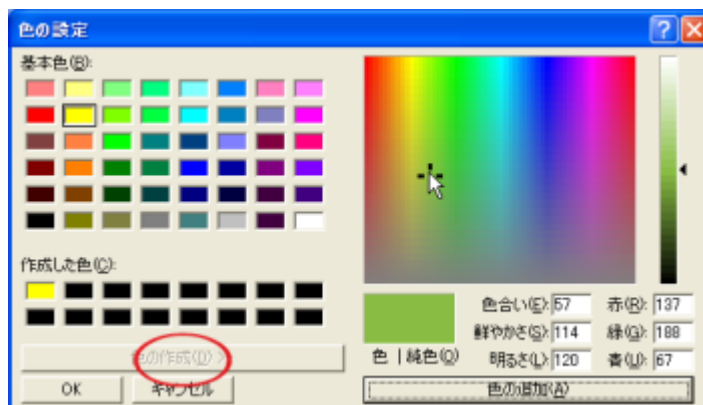
文字以外の部分に背景の画像が透けて表示されるかどうかを設定します。

### アンチエイリアス

文字のまわりをなめらかにする処理です。一般的にはチェックしておきます。

### 文字色

文字の色を設定できます。好みの色がない場合は、[色の作成]ボタンをクリックするとより多くの色から選べます。



なお、用紙設定のところを入力した[8]という数値は、一般的なインクジェットプリンタで最低限必要な用紙余白です。この最低限の余白はないと、画像の端がうまく印刷されないのです。

## 【ワンポイント】特殊効果



特殊効果のことをいいます。画面のボタン以外にも[加工]メニューにいくつか入っています。中でも[シャープにする]はピントのぼけた画像をくっきりとさせるので、よく使います。[加工] [シャープにする]を選び、レベルを調整し[OK]ボタンをクリックします。

フィルターは[シャープにする]もそうですが、あまりかけたことがわからない程度に行うのがコツです。逆にどうしてもたくさんかけないといけない場合には、元々の画像自体を作り直し(撮り直し)

の方が良いでしょう(シャープなどはあまりかけすぎても画像が荒くなりますので、ちゃんとピントの合った写真を再撮影しましょう)。

【巻末資料】特殊効果一覧



以下は[加工]メニュー内にもみある特殊効果です。

